



高橋 八重典 議員
大栄会

問 きんちゃんバスの改善を

答 運行改善に努める



▲和歌山県すさみ町内を走る
すさみコミュニティバス(住民バス)

問 公共交通「きんちゃんバス」の現状と将来について以下を問う。

答 28年度の年間運行経費は、
〔総務部長〕 9265万5975円。

問 弥富市公共交通活性化協議会とは。

答 地域の実情に即し、輸送サービスの実現を協議する場。

問 年間利用者数・年間経費をどのように認識しているか。

答 一定の効果を上げている。

問 今後どのように具体化するか。

答 必要に応じ計画の見直しや推進を考えている。

問 市長の考えは。

答 〔市長〕 東部運行ルートの見直しを検討。
問 和歌山県すさみ町の視察からバスの小型化、学区ごとの協議会の設立、地域に合った路線計画を取り入れる考えは。

答 〔総務部長〕 単純に小型化すれば経費が削減できるものではない。将来、公共交通網を再編する際に検討する。

問 先進都市から学び、市民の実情に沿った計画について市長の考えは。

答 〔市長〕 他市とは単純に比較できない。課題があるのは理解している。今後は協議会で検討していく。

問 公共交通は、この先見直しを含め現状を大きく変えるのは難しい。現在、北九州市で実証実験が行われている「高齢者向けタクシー」

問 タクシー定期券の導入を

答 実証実験の結果も踏まえ考える

答 タクシーに対する取り組みはさまざまあり、現在は実証実験の結果を注視し、内容を精査しながら検討する。

問 実証実験が認可されれば、導入を検討すべきでは。
答 結果を踏まえ検討する。
問 市の総括を。

答 〔総務部長〕 利用ニーズや市の負担、本人負担の考え方など情報収集に努める。

▲民間業者が期間限定で実施した新たなタクシーサービス